

【基本施策6】 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への支援と地域活性化

		所属名	オリンピック・パラリンピック推進課
事業No.	事業名		
43	ホームページの開設		
事業概要	写真や動画を用いながら、東京2020オリンピック・パラリンピックに関する情報をわかりやすく紹介する。		
計画目標	新規	目標に対する評価 (平成29年度末現在)	B:計画目標を達成した
平成29年度実績	区ホームページに東京2020オリンピック・パラリンピックに関するページを作成し、掲載内容の充実を行なった。		
評価の理由	区ホームページのトップページ改善に伴い、東京2020大会に関するページに直接アクセスできるようにバナーを掲載し掲載内容も充実できた。		
課題など	東京2020大会に関するページの充実はできたが掲載順は時系列となっている。今後、掲載する情報が増えることを考え、分類化した見やすいページ作りが必要である。		

		所属名	オリンピック・パラリンピック推進課
事業No.	事業名		
44	オリンピック・パラリンピックに関するパネル展の実施		
事業概要	区民まつり、スポーツまつり等のイベントの際にパネル展を実施し、広く区民に情報提供及びオリンピック・パラリンピック競技大会の啓発を行う。		
計画目標	継続	目標に対する評価 (平成29年度末現在)	B:計画目標を達成した
平成29年度実績	①目黒区商工まつり:719人、②目黒区民まつり:355人、③めぐろスポーツまつり:141人、④目黒区総合庁舎パネル展:800人、⑤ティーンズフェスタ・イン・めぐろ:200人、⑥目黒区成人の日のつどい:150人、⑦MIFA国際交流フェスティバル:100人		
評価の理由	パネル展の開催は、多くの来場者が見込める他の事業に合わせて展示したことにより、普段、オリンピック・パラリンピックに関心を持っていない方達へのきっかけ作り、及び、興味のある方へは普及啓発を図ることができた。また、クイズ形式での実施やパラリンピック競技体験(ボッチャ)等を併せて行なったことで理解促進ができた。		
課題など	東京2020大会全体への興味関心だけでなく、各種実施競技への興味関心と理解を深めてもらうようなパネル展の内容を検討していくことが必要である。		

		所属名	オリンピック・パラリンピック推進課
事業No.	事業名		
45	【重点事業】気運醸成事業の実施		
事業概要	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた気運の醸成や目黒のまちの魅力を発信していく。</p> <p>①めぐろ10kmマラソン(仮称)大会を実施する。 <再掲 事業番号29></p> <p>②スポーツ観戦事業を実施する。 <再掲 事業番号2></p>		
計画目標	新規	目標に対する評価 (平成29年度末現在)	B:計画目標を達成した
平成29年度実績	<p>第2回目黒シティラン～健康マラソン大会～の開催 カウントダウンモニターの設置(目黒区総合庁舎西口ロビー、オリンピック1,000日前記念) 東京2020大会 懸垂幕の設置(目黒区総合庁舎 東口) ボールゲームフェスタin目黒区 平昌2018大会写真パネル展の実施(目黒区総合庁舎西口ロビー、めぐろ区民キャンパス)</p>		
評価の理由	<p>カウントダウンモニター及び懸垂幕を総合庁舎の西口、東口にそれぞれ常時設置することで来庁する多くの方へ東京2020大会の意識付けができた。また、ボールゲームフェスタでトップアスリートと一緒にスポーツを体験することで子どもたちの身体を動かすことへの興味のきっかけ作りができた。</p>		
課題など	<p>東京2020大会に向け、更に興味関心を深めてもらうにはオリンピック・パラリンピアンとの交流や各種競技を実際に体験できるような事業展開が必要である。</p>		

		所属名	スポーツ振興課、教育指導課
事業No.	事業名		
46	オリンピック・パラリンピック教育		
事業概要	<p>①東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催時に、よりスポーツ観戦を楽しむため、競技種目など見所を解説する講座などを実施する。(スポーツ振興課)</p> <p>②東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を踏まえ、幼児・児童・生徒がスポーツにより心身の調和的発達を遂げ、オリンピック・パラリンピックの歴史・意義や国際親善、障害者理解の促進、ボランティア活動など、その果たす役割を正しく理解し、我が国と世界の国々の歴史・文化・習慣などを学び、交流することを通じて国際理解を深めるよう、年間35時間程度を目安に全区立小・中学校(園)でオリンピック・パラリンピック教育を推進する。(教育指導課)</p>		
計画目標	拡充	目標に対する評価 (平成29年度末現在)	A:計画目標を上回って達成した
平成29年度実績	<p>①スポーツ振興課 区立体育施設指定管理者の実施事業において、オリンピック・パラリンピアンによるデモンストレーション及び教室を行った。また、めぐろスポーツまつりにおいて、パラリンピック種目であるボッチャの実演と解説を行い、終了後は参加者による体験会を実施した。</p> <p>②教育指導課 オリンピック・パラリンピック教育推進校 全校(園)「4×4の取組」によるオリンピック・パラリンピック教育活動の計画と実施 オリンピック・パラリンピック教育アワード校:上目黒小学校 夢・未来プロジェクト 大岡山小学校(YOKOSOプログラム) オリンピック陸上競技100m、4×100mリレー選手 塚原直貴選手の講演・実技指導 田道小学校(YOKOSOプログラム)ソフトボール選手 三科真澄選手の講演・実技指導 第十中学校(YOKOSOプログラム)オリンピック陸上競技100m、4×100mリレー選手 塚原直貴選手の講演・実技指導 東山中学校(YOKOSOプログラム)陸上競技選手 森長正樹選手の講演・実技指導 不動小学校(Welcomプログラム)バスケットボール選手 ジャスティン・ヘラルド選手の講演・実技指導 油面小学校(自分にチャレンジプログラム)パラトライアスロン選手 秦由加子選手の講演・実技指導 烏森小学校(自分にチャレンジプログラム)車椅子バスケットボール選手 宮島徹也選手の講演・実技指導 世界ともだちプロジェクト 全校(園) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に参加予定国・地域について学び、その中から特定の国・地域の外国人との交流</p>		
効果または評価の理由	<p>①東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催時によりスポーツ観戦を楽しむことができるよう、ボッチャなどの見所を紹介する機会を提供することができた。</p> <p>②各教科等における「4×4の取組」は、小学校の全学年において35単位時間以上、中学校の全学年において39.5単位時間以上実施した。</p> <p>「YOKOSO」プロジェクト(大岡山小学校、田道小学校、第十中学校、東山中学校)、「自分にチャレンジプログラム」(油面小学校、烏森小学校)、「Welcome」プロジェクト(不動小学校 マナー講座有)を実施した。</p>		
課題など	<p>①引き続き、より多くの種目をより多くの方に紹介できるよう努める。</p> <p>②引き続き、オリンピック・パラリンピック教育を推進していく。</p>		

		所属名	文化・交流課
事業No.	事業名		
47	海外友好都市や区内大使館等との交流事業		
事業概要	目黒区と海外友好都市や区内大使館等が住民・自治体レベルで積極的に友好交流事業を推進することにより、相互理解を図るとともに、両都市間の友好親善や協力関係の増進につなげる。		
計画目標	継続	目標に対する評価 (平成29年度末現在)	B:計画目標を達成した
平成29年度実績	①三区間交流事業の実施 北京市東城区において、本区、東城区及びソウル特別市中浪区の三区の中学生によるスポーツ交流事業を実施した。 ②日中友好卓球交歓大会への参加 北京市において、本区と東城区の生徒がチームを組んで卓球大会に参加した。 ③目黒シティランへの大使館の協力		
評価の理由	新たに中国東城区及び韓国中浪区との三区間交流事業という事業を実施することができたことによる。		
課題など	次年度以降も継続的に実施する三区間交流事業について、文化の異なる三国間の連携・調整を的確に行い、事業の継続性を高める必要がある。		

		所属名	オリンピック・パラリンピック推進課
事業No.	事業名		
48	事前キャンプ地誘致		
事業概要	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴い、事前キャンプ地として目黒区をPRし、誘致する。		
計画目標	新規	目標に対する評価 (平成29年度末現在)	C:計画目標を一部達成した
平成29年度実績	東京都オリンピック・パラリンピック準備局が運営する、東京都内の体育施設等を紹介する事前キャンプガイドホームページに区立体育施設の情報を提供してPRを図った。		
評価の理由	目黒区は大会競技会場の指定がなく、公式練習会場は平成29年の夏頃に決定する予定だったが平成30年夏頃に延期となった。公式練習会場の内容を反映した上で、誘致活動を展開する必要があったため、現時点での積極的な誘致は難しい状況であり、前年度から引き続き体育施設の紹介で留めている。		
課題など	公式練習会場の決定に影響される部分が多いことから、会場が確定した時点で速やかに方針を決定して、PR活動を進めていく必要がある。		